



## 青翔中学校通信

(10月7日号 Vol.5)

### 青翔中学・高校の『体育大会』について生徒がレポートします！

オープニングダンス披露！(中一)

9月22日に、体育大会がありました。場所は奈良県立橿原公園陸上競技場です。競技場で行われる体育大会ということ、小学校で体育大会をグラウンドで行っていた私からすると、とても新鮮で、ワクワクしました。

さて、その競技場に到着して、いよいよ体育大会が始まろうとしていきました。しかし、競技場では大雨が降っていました。最初は「どうなるか」と思っていました。最初は「雨は止む」と思っていました。競技場の空に雲一つない晴れが広がっていました。その空はまるで私たちの住む大会の始まりを祝っているように、気分が高揚しました。

そして、私たち中一のダンスで体育大会が始まりました。このダンスは中一全員、一杯練習して仕上げたダンスです。本番でも、緊張せずに最後まで踊り切れました。ダンスが終わり、競技が始まりました。みんな、全力で競技に取り組みました。客席からは応援の音が響り止まず、グラウンドに立って見守る人もたくさんいました。中には、自分も客席で見ているように見えました。私自身が客席で見ている中、先輩方の競技には、圧倒されました。中でも、大縄跳びは圧巻でした。あのフレイは深い信頼がないとできないと思います。体育祭を通じて、信頼関係の大切さを改めて実感しました。

仲間と共にやり遂げた体育大会(中二)

今回、新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となった、全中学生初の体育大会！

当日の朝は雨でしたが、開始直前にはそれまでの雨が嘘だったかのように晴れました。しかし、トラックはとても滑りやすい状態で、私も50m走で滑りかけたことが今でも印象に残っています。私は他にも男女混合リレーと大縄跳びに出場しましたが、仲間と協力して物事をやり遂げることは本当に楽しいものだと思います。仲間がいるって最高ですね！

2年1組は残念ながら優勝は出来ませんでした。悔しい体育大会となりました。次回は、他の競技も追加された制限の少ない体育大会になればと思います。次は優勝目指して頑張ります！

クラスの絆を強く感じた体育大会(中二)

忙しい文化祭を終えると、体育祭があったという間にやってきました。中学三年生が分すると体育祭は初めてで待ち遠しかったです。行事の一つです。

私のクラスでは体育祭が開催される何日も前から、大縄跳びの練習をしていました。個人戦である徒競走などは個人練習でしたが、各種目を背負う皆さんの背中からは、只ならずぬ熱気と活気に溢れていました。

そして当日、全学年が同じ場に立つ緊張感を感じながらも仲間と共にグラウンドに立ち、体育祭の幕が上がりました。どのクラスもそれぞれ良さを感じながら、懸命に戦っており、私も負けられない気持ちになりました。

団体戦で私のクラスが輝きを見せたのは、綱引きと大縄跳びでした。掛け声と共に増幅されていく鼓動と協調性は力となり、綱引きが一位という結果になりました。嬉しくも大縄跳びは二位でしたが、練習したことでも感じる達成感は何れも忘れないものとなりました。

全プログラムを終えたら、「お疲れ様！」や「楽しかった！」という言葉と共に体育祭は幕を閉じました。私自身はとても楽しく、改めてクラスメイトとの絆を感じることができた。